

交換留学帰国報告書

記入 | 2020 年 3 月
 所属 & 学年 | 工学部 4 年
 卒業予定 | 2021 年 3 月

留学先大学	アデレード大学
留学先国	オーストラリア
留学期間	約 10 ヶ月 (4 年次に留学)
留学開始 - 終了	2019 年 2 月 17 日 - 2019 年 12 月 19 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

① 留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

オーストラリアを選んだ理由は、交換留学を本気で考え始めたのが遅く、大学院入試の準備期間を考えると英語圏の留学先ではオーストラリアしか選択肢がなかったため。アデレード大学を選んだ理由は、町が過ごしやすそうだったのと、物価がシドニーやメルボルンよりも安いから。

② 留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

海外で仕事をするという選択肢を持てるように英語力を上げるため。また、1 年の海外経験ができるチャンスを卒業してから得るのは難しいと考えたため

③ 留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
フィリピン	3 年	語学留学・2 か月
アメリカ	2 年	観光・数日

④ 実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

3-4 カ月前

⑤ 海外留学室の個別相談を利用した方は相談回数や相談内容、参考になったことを教えてください（利用していない方は、利用しなかった理由や状況など）。

応募前に 2 回、留学費用や奨学金について個別相談をした。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

① 留学前の語学対策、TOEFL などの受験回数などについて教えてください。

フィリピンの語学学校の IELTS コースで 2 カ月試験対策をしたが、このときはまだ交換留学に申し込むかは決めていなかった。

IELTS は 2 回受験した。提出期限が近く 2 回申し込んだが目標スコアは 1 回目で達成。

②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

JASSO の給付型奨学金の受給条件に GPA があるので、はっきりと決めていなくても交換留学に申し込む可能性があると思っている人は、そこそこ良い成績を修めておくことで得するかもしれない。

単位互換・教職履修に関してはわからない。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG3001 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

PHYSICS は理学部が、ENG は工学部が開講している講義。交換留学生の受講不可となっている講義もあるのでもってネットで確認が必要。講義時間は表記上 60 分となっているが実際は 50 分であり、10 分間が講義室の移動に充てられる。同じ講義が 2 コマ続けてある場合は 10 分間の休憩をはさむがそれは恐らく講師による。50 分なので 90 分より集中できる。履修登録はネットで行う。名大と異なり、前後期分の履修登録を前期が始まる前に行わなければならないので注意が必要(履修科目修正期間あり)。Lecture の時間と Workshop の時間をそれぞれ選ぶ。恐らく早い順に埋まっていくのでできるだけ早めに登録したほうがよい。Course Time Planner というサイトがあり、講義時間がかぶっていないか調べるのに役立つ。試験は大学の構内ではなく、町のはずれの施設で様々な科目の受講者が数百人まとめて一斉に受験する。単位は総得点の 5 割で出る(評価は c)。

○前期

・ PHYSICS 3542 – Physics III

時間数・単位数ともに普通の講義の 2 倍あり、量子力学・電磁気学・統計力学をそれぞれ別の教員が担当し、それぞれについて期末試験がある。理学部生の必須科目であり、受講者は多かった。

・ PHYSICS 3532 – Atmospheric and Astrophysics III

気象や惑星、宇宙物理学に加え、初歩的な特殊相対性理論についても勉強した。レベルⅢの講義ではあるものの Prerequisite(この講義を受講するために取得していなければならない単位)に Astrophysics II など天文系のものは含まれておらず、宇宙に関する前提知識が少なくても単位が取れる授業構成になっている。受講者は 25 人程度。

○後期

・ PHYSICS 1002 – Astronomy I

1 年生向け。講義の受講に加えてパソコンソフトで望遠鏡を遠隔操作して行う演習、問題を解く演習、大学内での天体観測、バスで数十分の大学施設での天体観測といろいろなプログラムがあった。天体観測は悪天候でやたら延期になりあわや中止となるところだった。

・ ENG 3003 - English Communication EAL

工学における重大事故について学びながらレポートの書き方、プレゼンの仕方等を学ぶ。7 割の受講生が中国系だった。

・ PHYSICS 3544 – Quantum Mechanics III

量子力学。名大工学部の講義とは比較にならない難易度だったが、毎週やる演習にも解答がしっかりついているので勉強はしやすい。

・ PHYSICS 3006 – Advanced Dynamics and Relativity III

序盤は特殊相対性理論(と一般相対性理論のさわり)、後半は解析力学という構成。恐らく理学部でしか習わない概念が次々飛び出し、何を言っているのかわかっても何を言っているのかわからないことが多かった。落単。

②授業を受けるにあたって、心掛けていたこと、どんな努力や工夫をしていましたか？

講義は後からネットで配信されダウンロードもできるので、ノート写しだけに集中せず説明を聞くようにしていた。また、配信された動画の確認を必要であればしていた。

③学習面で困ったことはありましたか？どのように解決しましたか？

専門用語が始めはわからなかったが徐々にわかるようになっていった。説明を聞いても英語ではどうしてもわからないところがあったのでネットで日本語のサイトを見たりしていた。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

南オーストラリア州の州都だが、都会なのは大学近くの一部だけで少し離れると何も無い田舎町であり、退屈だと言っている人が周りに多かった。日本とは違いなんというか穏やかな雰囲気。校風なのかはわからないが勉強用スペースにはいつも多くの学生がいた(試験前は特に)。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

アデレードの中心部ではフリーWifiが飛んでいて便利だが、場所によってはそこまで電波が良くない。地下や建物内では使えないため自分でsimカードを購入する必要がある。自分はCatch Connectという格安simを使っていたが、安いわりに速度も速くおすすめ。ただし大量のデータ通信プランはないため寮にWifiが必要である。多くの学生寮はWifi環境があり、水道・電気とともに家賃に含まれている。また、名大と同じようにアデレード大学敷地内で使える大学のフリーWifiもあり、速度はそこそこ早い。

大学にはHub Centralという24時間空いている場所があり、勉強がはかどると思う。パソコンや充電用コンセントも多数設置されている。パソコンはwindowsとmacの2種類あり、日本語IMEも導入されているがフォントは少しおかしい。名大のような学食はなく、購買のようなものがいくつかある。Hub Centralにあるサンドイッチ屋は大きめのサンドイッチが700円近くなど高いが夕方に半額になっていたのを見た(毎日半額になるかは知らない)。

大学のすぐ近くにはRundle Mallという商店街があり、食品も含めてほとんどなんでも揃うが店が閉まるのは日本人からすると早い。土日には多くの店が17-18時に閉まってしまうがコンビニやマクドナルドは24時間営業しているところもある。ただしオーストラリアのコンビニは非常に高く、普段はスーパーを利用していた。治安は基本的に良いが、日本よりは悪い。例えば危険な通りもあるので(後述)夜間の外出は気を付けたほうが良いかも。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか(具体的にお願いします)？

英語が勉強できるよ！と言われて行ってみたキリスト教のサークルに通っていた(非キリスト教も歓迎とのこと)。またオリエンテーション期間にはいろいろなイベントがあったりするので、そこで知り合った人と仲良くしていた。

④余暇の過ごし方(授業後や長期休暇など)について教えてください。

授業後には大学で勉強したり、たまに友達とレストランに行ったりしていた。長期休暇中にはパロッサなどアデレード近郊の観光やシドニーやメルボルンなど他の都市へ観光をした。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか？

果物が安かったのでたまに買って食べるようにしていた。水道水は汚いと聞いたので飲まないようにしていた。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

無し。一度調子が悪くなり大学内のクリニックに行ったが予約が必要だと言われて受診できず、結局自力で治した。

③加入した保険の種類について教えてください。

留学先の大学が用意した「キャンパス保険」への強制加入

*キャンパス保険でカバーされない部分は、個人保険に加入も含む

個人の保険のみ

キャンパス保険と個人の保険の二重加入

④留学するにあたって、予防接種は必要でしたか？

はい（種類：）

いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
何人部屋	(1) 人 ただし 5 人でキッチンを共用

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

寮の壁が薄く生活音や騒ぐ音がかなり聞こえるさかった。自分も静かに生活しようと気を付けていた。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

日本食品はその辺でだいたい買えたので持っていく必要がなかった。薬類はどれを買えばいいのかいまいち分からないので持って行ったほうが良いと思う。オーストラリアにシャワートイレは存在しないので携帯用シャワートイレを寮において使っていたが役に立った。

④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

アデレード留学経験者のブログ

G. 留学費用について

①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

オーストラリアに限った話ではないが、ソニー銀行でオーストラリアドルをあらかじめ購入しておき、デビットカードで外貨預金口座から直接支払いをすることで、日本のカードを使った場合何重にもかかる手数料を削減できる。また、現地銀行への送金には通常の銀行間送金ではなく TransferWise を利用するとかなり手数料が安くなる。日本と違い基本どこでもカードが使えるので、明細が簡単に見ることが出来るカードを使うのがおすすめ。ただし、日本とは異なりカードでの支払いに手数料が上乗せされる店も多いので(特に個人の飲食店)、確認が必要。

②奨学金はもらっていましたか？

- はい (奨学金名：JASSO から 支給額：月 7 万円)
(奨学金名：アデレード大学から 支給額：5000 オーストラリアドル=約 40 万円)

いいえ

③差し支えなければおおよその留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	16 万円	名大と提携しているアークスリーインターナショナルによる手配。カンタス航空の場合が多く、カンタス航空は JAL と提携しているため JAL のマイルをかなり貯めることができる。成田-ブリスベン-アデレード往復で国内線片道分程度貯まり、手続きも簡単な事後登録のみなのでカンタス航空ご利用の際はぜひ。
住居費	年 130 万円 (Urbanest North Terrace) (電気・水道・無制限 Wifi 込み)	<p>いろんな大学と提携している Urbanest。アデレードには Urbanest Norce Terrace と Urbanest Uni of Adelaide の 2 棟があり、それぞれ南オーストラリア大学、アデレード大学と提携している。後者のほうが新しく大学の文字通り目の前だが費用が高いため、North Terrace のほうを選んだ。家賃は非常に高いが壁が薄くルームメイトの話し声などが丸聞こえであり、部屋はそんなにきれいでもない。洗濯はコインランドリーで、洗濯機と乾燥機それぞれ 1 回 300 円(4AUD)かかるのが痛い。また半年か 1 年契約しかできず早めに帰国するとその分は無駄になる。共用部分は月 1 回、個室は 3-4 カ月に 1 度 Inspection があり、あまりに汚しているとクリーニング代をとられる。ゴミの分別が必要なく、燃えるゴミだろうがビンだろうが全て同じところに入れ、あとから Urbanest の人が(たぶん)分別するという、楽なのかもしれないが無駄なシステムを採用している。エアコンは設置されているものの、①暖房と冷房を自由に切り替えられない(月によって決まっている)②日中は 1 時間で勝手に切れる(夜間はずきっぱなし)、というどこにも記載されていない罠がある。併設されているジムは無料で、そこそこの規模がある。部屋に入るまでにカードキーを 3 回使わなければならず、オートロックかつスタッフも夜間以外は多くいるためセキュリティーは良い。しかし、すぐ近くの Hindley St.はアデレード屈指の治安の悪い通りである。日中は恐らく問題はないが夜間は危険とのこと。Hindley St.にはクラブが多く、毎週末はクラブに行く人たちが大変にぎわっている。半径 200m 以内に日本食レストランが 5 件あり、Rundle Mall のダイソー(2.8AUD 均一)まで徒歩 5 分である。</p> <p>長々と書いたが自分は Urbanest しか知らないで、他の寮と比較して良いか悪いかは正直わからない。</p>
ビザ代	5 万円	発給に時間がかかる場合があるとネットに書かれており不安だったが、申し込んだ次の瞬間に発給され驚いた(あくまで自分の場合)。

保険代		Allianz の OSHC(キャンパス保険)+アークスリー。Allianz の場合保険適用期間は 12 カ月しか選べなかったが、帰国直前に大学にある Allianz の出張所で申請することで帰国後の日数分の費用を返してもらえた。
食費	月約 3 万円	最初以外ほとんど自炊はしていない。果物や肉は日本よりも安く、スーパーの総菜でもお値打ちなものもあるが、レストランはとて高い。チャイナタウンにある市場が安いので自炊するならおすすめ。マクドナルドや Hungry Jack's(ハンバーガーチェーン)のクーポンの値引率がすごいのでアプリのダウンロード推奨。
教科書代	約 1 万円	pdf での資料配布の講義がほとんどで、それを大学のプリンタ(かなりの枚数まで無料)で印刷して利用していた。購入した教科書 1 万円分も必須ではないため実際は 0 円だった。

F. 今後の進路や目標、就職活動について

①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

- 進学
 就職
 その他（ ）

②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

英語を生かせる仕事がしたい。
オーストラリアで 1 年過ごしたことで日本の便利さを再認識したが、便利さだけが生活の良し悪しを決めるのではないとも気づいた。

③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

就職活動は行っていない。

F. 留学を終えて感じること

①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

英語の上達という点ではもう一つと感じるところもあるが、思い出に残る 1 年間で過ごせた。日本とは違いさまざまな人種の人々が生活しているのが当たり前な場所で、外国人だという理由で特異な視線を向けられることもなく、過ごしやすかった一方で、日本ではまだ外国人に対して排斥的な人も多く、改善していかなければいけないところだと思った。各所にアボリジニに関する記述があり、アボリジニに対して入植時に行われたことや差別の歴史をしっかりと認識していこうという方針が見て取れ、日本も見習ったほうがいいと思った。

②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

外国人をより身近な存在に感じられるようになった。さまざまなことに対して、英語でできたのだから日本語でできないはずはない、という自信が付いた。

③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

大学を卒業したら1年も海外に行くという機会はなかなかありません。今なら成績が良ければ奨学金ももらえる可能性がありますし、たった1年卒業が遅れたところで別に問題はないです。絶対に何かを成し遂げるといった気持ちでなくても、行ってみれば何か今後役に立つものを得ることができるはずなので、迷っているならそこまで気負うことなく交換留学に申し込んでみるとういきたいと思います。

◆自由記述欄◆



以上